



2019年度

事業報告書

2019年(平成31年)4月1日から
2020年(令和2年)3月31日まで

学校法人関西学院



2019年度事業報告書の公表にあたって



学校法人 関西学院
理事長 平松 一夫

学校法人関西学院の2019年度「事業報告書」を公表いたします。

この事業報告書は、財務情報の公開を目的として2004年度から私立学校法により作成および閲覧に供することが義務付けられているものです。本法人では、これ以前の1968年度決算から学内の教職員および学生・生徒等に財務状況を公表し、1999年度決算からはホームページ上でも公表することにより、情報開示をすすめてまいりました。

関西学院は、1889年にアメリカ人宣教師W.R.ランバスによって設立されました。最初の入学者数は僅か19名でしたが、創立130周年を迎えた2019年度には、8つのキャンパス、9つの学校に合計2万9千名を超える学生・生徒等が学ぶ総合学園に発展しました。

現在、創立150周年を迎える2039年を見据えた将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」(2018年3月20日発表)の基に、本学院の使命である「スクールモットー“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成」を実現するため、学院全体でさまざまな改革を進めているところです。

この一環として、2019年4月に「SDGs推進本部」を発足させました。また、“AI活用 for SDGs”「地球と人類に貢献する平和構築のための学び」を構想名として「WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業」(2019~2021年度)の採択・指定も受けており、学院をあげて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献すべく取り組んでいます。

2020年の年明け以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済への影響も含め世界中の多くの国で危機的な状況に陥っています。本学院でも、学生・生徒・児童・園児、教職員の安全と健康の確保を最優先し、また感染拡大防止という社会的責務を果たすため、各学校において卒業式の中止や休校等の措置をいたしました。また、理事会において、この事業報告書の作成を含む決算関係日程を1カ月延期することを決定いたしました。終息に向けて先行きが見えない中、全世界が団結してこの苦境を乗り越えるため、本学院の教育・研究の成果をもって貢献してまいりたいと考えています。引き続き本学院の活動にご理解・ご支援をたまわりますようお願いいたします。

目次

| | |
|----------------------------|-----------------------------|
| I. 学校法人の概要 | II. 事業の概要 |
| 1. ミッションとスクールモットー …………… 02 | 1. 関西学院大学の教育研究の概要…………… 09 |
| 2. 沿 革 …………… 02 | 2. 学生・生徒等の納付金 …………… 11 |
| 3. 関西学院が設置する学校・施設 …………… 03 | III. 財務の概要 |
| 4. 学生・生徒等の状況 …………… 04 | 1. 決算説明と事業の内容 …………… 12 |
| 5. 教職員の状況 …………… 05 | 資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表… 21 |
| 6. 主な運営活動指標等の推移 …………… 06 | 独立監査人の監査報告書・監事監査報告書…………… 32 |
| 7. 役員・評議員の状況 …………… 07 | 2. 財産目録 …………… 34 |
| 8. 組 織 …………… 08 | 3. 財務データ(経年比較)…………… 36 |

学校法人関西学院 2019年度事業報告書

発行 学校法人関西学院
兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
2020年6月30日
<https://www.kwansei.ac.jp/>

※本報告書の対象期間は2019年度(平成31年度)ですが、この期間以外の内容も記載しています。